



ほけんだより 7月号

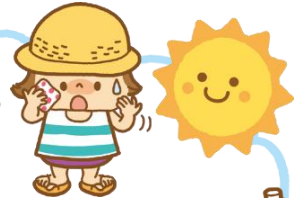
令和6年6月末日

志村さかした保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配になる季節となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや気温が上がった日は特に注意が必要です。喉が渴いていなくても水分をこまめに摂るようにしましょう。

熱中症

夏の強い日差しや、高温多湿の気候は熱中症になりやすいので注意が必要です。



<予防のポイント>

- 外に出るときは帽子をかぶりましょう。
- 日よけのあるベビーカーでも照り返しで暑くなるので注意しましょう。
- 気温の高いとき（夏季）は、日差しの強い時間帯の外遊びは控えましょう。
- 高温の室内や車内でも熱中症にかかります。絶対に子どもを一人にしないでください。
- こまめな水分補給をしましょう。
- 睡眠不足や食事摂取量が少ないと熱中症になりやすいため、生活リズムを整え、元気に登園しましょう。

<熱中症を疑ったら>

涼しいところへ移動し、衣服をゆるめて風通しをよくし寝かせます。塩分・水分を含んだイオン飲料や経口補水液をこまめに少しずつ与えましょう。



カビにご注意！

●水筒の衛生管理について●

- 年々暑くなる季節が早まり、保育園でも熱中症対策の1つとして水筒持参にご協力いただいております。
- 水筒の中身は毎日交換し、洗浄をお願いします。また水筒のパッキン等のカビも繁殖しやすい時期です。洗浄・漂白をこまめに行い、清潔に保つようにしましょう。

●乳児さんご注意●

- 食事用エプロンやよだれかけ、ガーゼなど洗っても落ちない黒い点々がついていませんか？それは、汚れではなく“カビ”かもしれません。使用している物を確認して、清潔なものに交換しましょう。

夏の感染症について

手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱など、夏にも流行する感染症があります。また、虫さされをかき壊して、とびひになるとプールや水遊びができません。体調が悪くて病院を受診する際には

- ①感染症かどうか
- ②登園の可否
- ③プールや水遊びの可否

を確認してください。

保育園内の感染症罹患状況は、事務室横の保健のコーナーに掲示しています。登降園時に確認をお願いします。

また感染症と診断された際は、登園許可証が必要です。詳しくは園のしおり P31【感染症】をご覧ください。

